

## 熊本地震と過去の地震との被害比較

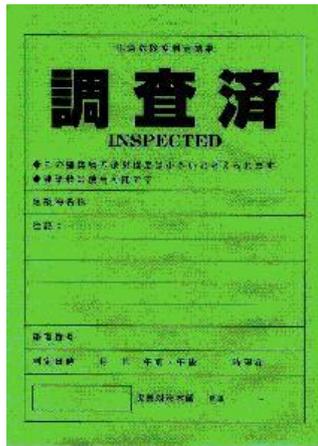
			熊本地震(前震)	熊本地震(本震)	東北地方 太平洋沖地震	新潟県中越地震	兵庫県南部地震
発生日時			平成28年4月14日 21時26分頃	平成28年4月16日 1時25分頃	平成23年3月11日 14時46分	平成16年10月23日 17時56分頃	平成7年1月17日 5時46分
震源の深さ			約11km(暫定値)	約12km(暫定値)	24km	13km	16km
マグニチュード			6.5(暫定値)	7.3(暫定値)	9.0	6.8	7.3
最大震度			7 (熊本県益城町)	7 (熊本県益城町、西原村)	7 (宮城県栗原市)	7 (新潟県川口町)	7 (神戸市須磨区鷹取・長田区大橋・兵庫区大開・中央区三宮・灘区六甲道・東灘区住吉、芦屋市芦屋駅付近、西宮市夙川等、宝塚市の一部、淡路島北部の北淡町、一宮町、津名町の一部)
被害状況	人的被害	死者	69	19,418	68	6,434	
		重傷	372	698	633	10,683	
		軽傷	1,312	5,337	4,172	33,109	
		程度不明	58	185	-	-	
		行方不明	-	2,592	-	3	
	住家被害	全壊	7,996	121,809	3,175	104,906	
		半壊	17,866	278,496	13,810	144,274	
		一部損壊	73,035	744,190	105,682	390,506	
		程度不明	-	-	-	-	
	非住家被害	公共建物	248	14,322	41,737	1,579	
その他		671	88,883	-	40,917		
火災		16	330	9	293		
参考資料			消防庁 第55報 (H28.5.24 8:00)	消防庁 第153報 (H28.3.8 14:00)	消防庁 確定報 (H21.10.21 10:00)	消防庁 確定報 (H18.5.19)	

# 被災建築物応急危険度判定について

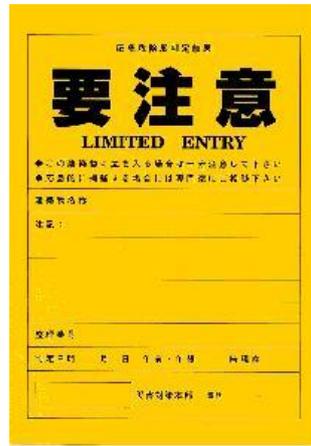
## ○ 被災建築物応急危険度判定

応急危険度判定は、余震などによる二次災害を防止するため、市町村が大地震により被災した建築物を調査し、倒壊の危険性や外壁・窓ガラスの落下などの危険性を判定するものである。

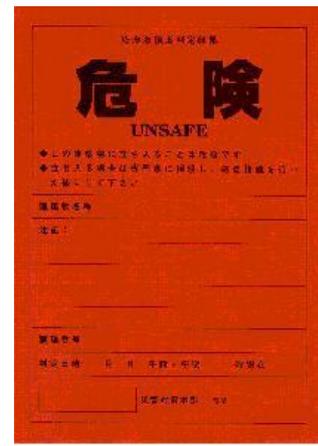
判定結果は、建築物の見やすい場所に『判定ステッカー』を表示し、居住者はもとより付近を通行する歩行者などに対してもその建築物の危険性について情報提供することとしている。



この建築物は  
使用可能



この建築物に  
立ち入るときは十分注意



この建築物に  
立ち入ることは危険

## ○ 平成 28 年熊本地震における実施状況 (H28.5.18 の作業終了時点)

- 熊本県内の 18 市町村において、延べ 6,541 人の対応人数で、54,381 件(危険：15,189 件、要注意：17,529 件、調査済 21,663 件)について応急危険度判定を実施。

対応人数 (延べ)	県内		県外		
	行政	民間	行政		民間
			九州	九州以外	
6,541 人・日	502 人・日	435 人・日	1,143 人・日	3,371 人・日	1,090 人・日
	937 人・日 (14%)		5,604 人・日 (86%)		

※行政：5,016 人・日 (77%)、民間：1,525 人・日 (23%)

# 被災建築物の応急危険度判定の状況（5/18終了時点）

